

平成 28 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

認知症の人の視点に立って、認知症への
社会の理解を深めるための情報発信に関する
調査研究事業
報 告 書

平成 29 年 3 月

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク
全国キャラバン・メイト連絡協議会

1. 事業の目的

認知症についての正しい知識の啓蒙啓発は、この10年余りを振り返ると、認知症サポーターの養成等が功を奏し目覚ましい成果を遂げている。全国には約850万人超の認知症サポーターがおり、その中には地域で見守りや傾聴ボランティア、サロンづくり等積極的な活動を行っている認知症サポーターもいる。

一方で、認知症に関し全く関心を持たない層へ目を向けると、まだ認知症への正しい理解、認知症の人の日常生活を支えている認知症サポーターの存在が浸透しているとは言い難い。認知症の人とその家族、現在その支援にあたっている周囲の人、また医療機関、介護の現場で働く人だけでなく、より広く全国民が一定の認知症の理解をもつことは、社会の偏見をなくすだけでなく、本人・家族が認知症についてオープンにすることを促し、早期発見・対応に結びつくと考えられる。

不特定多数の人を対象とする広報事業に向けて内容・方策を検討し、作成を行うことにより、認知症の正しい理解の常識化を図ることを目指す。

マスメディアを活用した全国規模の認知症に関する啓発事業の実施により、認知症の正しい理解の促進、認知症に関する負に偏ったイメージの払拭を加速させることが期待される。それにより、認知症の人を含む誰もが地域での暮らしを継続できる住民主体の地域づくりを促進する。

さらに国民が認知症に関心をもつことをきっかけに、正しい理解が普及することにより、早期発見、対応へと結びつける事業となる効果が見込まれる。

これらにより、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを目指している認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）のさらなる推進が期待される。

上記の意義を踏まえて、公益の広告活動実施機関であるACジャパン通じて広報事業を実施した。

2. 事業の概要

(1) 認知症の正しい理解を効果的に促進するための広報内容の検討

下記の要点について、広報内容の検討を行った。

- ・ 未来の日本を担うキッズサポーターを取り上げることによって、小中学生など十代以下の認知症サポーターのさらなる養成、認知症への理解の普及の充実を図る。

- ・キッズサポーターの存在をはじめ認知症の人とその家族への身近でさりげない日常生活上の支援があることで、認知症になっても本人の意思に沿い、地域で生き生きとした生活を送ることができる。認知症は誰もがかかる可能性があるが、周囲が正しい知識をもち適切に対応することで穏やかに暮らすことが可能であることをわかりやすく周知する。
- ・認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進に向けて、認知症サポーターたちによる国民的運動を広く推進する必要があることを全国民に浸透していくように五感に訴えかける広告を作成する。
- ・認知症について暗い、おそろしいものであるようなイメージ、誤解を招かない表現とする。
- ・周囲の理解とちょっとした手助けにより、認知症になっても穏やかな生活、前向きで充実した生活を送ることができることをわかりやすくPRする。
- ・TV、ラジオのコマーシャル、新聞・雑誌等、交通広告、映画館広告等、媒体ごとに効果的な広報内容を検討する。

広告作成においては、下記の内容に焦点をあてることとした。

①広告活動の目的

○みんなが認知症について正しい知識をもち、偏見をもたず、助けあうことができる社会をつくる。

○さらに、認知症の正しい知識を身につけた人「認知症サポーター」の活動の周知を図る。

わが国の認知症サポーターは850万人を超えるが、認知症サポーターの5人に1人は、10代までのキッズサポーターである。いまでは10代未満の小学生たちにも認知症サポーター養成講座が行われ、キッズサポーターとしての活動が日本国中に広がっている。

認知症の知識を得た子どもたちは、知識だけではなく相手の気持ちを思いやることを知る。地域のなかで、当たり前のように認知症の方々と接する。こうした何気ない子どもたちの活動が、これからの日本を変える力となる。

②訴求点

○認知症になっても生き生きと暮らせるまち

- ・認知症について正しく理解した人「認知症サポーター」が地域に大勢いること。
- ・子どもから高齢者まで地域住民が認知症の人やその家族の暮らしを支え、共に生き生きと過ごせること。……誰もが安心して暮らせる地域となる。
- ・認知症サポーターの活躍を中心としたまちづくりの実践から、日常生活・業務の中で自分ならどんな手助けができるかを考える。

<関連情報>

- ・世界一の長寿大国日本は、多数の認知症高齢者を抱える国。
- ・高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備軍である。2025（平成37）年には認知症の人は約700万人になると見込まれる。
- ・認知症の人は、記憶障害、認知障害などから日常生活に支障を来し、周りの人との関係が損なわれることもしばしば起こる。しかし、周囲の理解とちょっとした手助けがあれば、穏やかに住み慣れた地域で暮らしていくことは可能である。
- ・認知症の人と「認知症サポーター」の割合が1対1からさらにそれ以上へと増加することは、社会の偏見をなくすだけでなく、本人や家族が認知症についてオープンにすることを促し、認知症の早期発見にもつながる。

上記を踏まえ、広告では、実際に小学校等で行われている講座風景、キッズサポーターと認知症の人を含む高齢者との交流等の様子をなどの映像を用いた。

- 撮影場所：久米小学校（三重県伊賀市）
長浜北小学校・南郷里小学校（滋賀県長浜市）
東光小学校（京都府精華町）
風の詩（栃木県佐野市 デイホーム・社会福祉士事務所）

③ターゲット

全国民をターゲットとする。地域で暮らす住民（小学生から高齢者まで）、ま

た認知症の人の生活に直接関わる業種の企業団体等がおもな対象となる。

④表現上の留意点

・「認知症」を恐ろしい病気、暗いイメージのものとしてとらえる表現は避ける。

(高齢になれば誰もがかかる可能性がある。また、適切な支援・環境により、認知症になっても住み慣れた地域で穏やかに暮らすことは可能である。)

(2)全国民を対象とする広告の作成

(1)を踏まえた広報事業を、次の媒体を用いて実施した。

①テレビ・ラジオコマーシャル

- ・テレビコマーシャル：DVD 添付
- ・ラジオコマーシャル（別紙1）

②新聞・雑誌

- ・新聞広告

全国紙及び地方紙等において随時掲載した。（別紙2）

- ・雑誌広告

7社の雑誌（モノクロ及びカラー18点）において随時掲載した。（別紙3）

③交通広告

首都圏を中心とした鉄道各社において掲示した。

※私鉄（東急、小田急、都営、東武、京成、京急、西武、相鉄、名鉄）、 JR（東日本、東海）。

駅構内ポスター B全・約735枚（私鉄670枚、JR65枚）

車内吊り広告 B3・約46,740枚（私鉄42,740枚、JR4,000枚）を掲示した。（別紙4）

④映画館広告（映画館でのCM放映）※内容はテレビコマーシャルと同様

上映期間：平成28年7月～9月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
東京	銀座	東劇	1	435
埼玉	三郷	MOVIX三郷	12	2,523
大阪	堺	MOVIX堺	12	2,413

上映期間：平成28年10月～12月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
東京	錦糸町	楽天地シネマズ錦糸町	4	966
茨城	つくば	MOVIXつくば	9	1,632
兵庫	神戸	神戸国際松竹	4	516

上映期間：平成29年1月～3月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
東京	昭島	MOVIX昭島	12	2,429
群馬	高崎	109シネマズ高崎	8	1,513
鳥取	日吉津	MOVIX日吉津	6	1,306

3. 事業の効果

全国民を対象とする認知症の正しい理解に関する情報発信を実施することにより、認知症について関心をもたない層の国民の意識に働きかける効果が得られている。さらなる学習への希望、地域での支援への興味、認知症サポーター養成への協力意欲を持つ例も見られた。

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、映画館広告、交通広告のいずれかを見て、地域ケア政策ネットワークに平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月に約 130 件の電話照会があった。

視聴した媒体としてはテレビ 9 件、ラジオ 9 件、新聞 90 件、雑誌 3 件、映画・交通広告 18 件となる。

問い合わせ内容としては、

①「広告を見て認知症サポーター講座に興味をもった」等、学習や実践に関する相談先について約 20 件、

②「家族が認知症であり対応に苦慮している」「介護者が集まる会の情報を知りたい」「自分が認知症かもしれないと不安になった。相談先を知りたい」等の認知症に関する相談機関について約 40 件あった。ほかに、

③キッズサポーターの養成について知り、関心を持った。

④わが子の通う学校でも認知症サポーター養成講座を開催してほしい。等となる。

①④の問い合わせに対しては、市区町村の「認知症サポーターキャラバン」担当課連絡先を伝え、②の内容の問い合わせには相談者の最寄りの地域包括支援センター等相談機関を紹介する対応を事務局にて行ってきた。

小中学校等での認知症サポーター養成は着実な増加を見せ、キッズサポーターの年間養成数は、平成 27 年度約 36 万人に対し、平成 28 年度約 43 万人と約 1.2 倍に増加しており、その結果、平成 17 年度からの累計では 180 万人超となり、全国民向け情報発信の効果があらわれていると考えられる。

ナレーション 全国の小学校でたくさんの認知症サポーターが育っています。

正しい知識を身につければ、自分に何ができるかを考えだす。

相手の気持ちを汲んだり、やさしく声をかけたり。

地域の一員として行動するひとり一人の子どもたちが

この国の大きなチカラになっていく。

認知症を見守り、支え合う、日本へ。

認知症サポーターキャラバン

CI ACジャパンは、この活動を支援しています。

全国の小学校でたくさんの 認知症サポーターが育っています。

正しい知識を身につけて、自分で考え、行動する子どもたちが、この国のチカラになっていく。



滋賀県長浜市

Dementia
Supporter Kids
in JAPAN

認知症を見守り、支え合え、日本へ。



認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキャラバン

TEL:03-32666-0551 受付時間 月～金曜 9:00～17:00

検索

ACジャパンは、この活動を支援しています



公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す民間の企業と団体が
ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 (電通銀座ビル) TEL: (03) 3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円分同封) ◆ホームページ <http://www.ac.or.jp>

全国の小学校でたくさんの 認知症サポーターが育っています。



滋賀県長浜市



正しい知識を身につけて、
自分で考え、行動する子どもたちが、
この国のチカラになっていく。

認知症を見守り、 支え合え、日本へ。



認知症サポーターキョーカラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキョーカラバン 検索
TEL:03-3266-0551 受付時間 月～金曜 9:00～17:00

ACジャパンは、この活動を支援しています



公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を越す民間の企業と団体が
ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 (電通銀座ビル) TEL. (03) 3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円分同封) ◆ホームページ <http://www.ad-corp.jp>

全国の小学校で たくさんの認知症サポーターが 育っています。

正しい知識を身につけて、自分で考え、
行動する子どもたちが、この国のチカラになっていく。



滋賀県長浜市

認知症を見守り、支え合ひ、日本へ。



認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキャラバン

検索

TEL:03-3266-0551 受付時間 月～金曜 9:00～17:00

Dementia
Supporter Kids
in JAPAN



ACジャパンは、
この活動を支援しています。

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を越す民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(電通銀座ビル) TEL:(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円分同封) ◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

全国の小学校でたくさんの 認知症サポーターが育っています。

正しい知識を身につけて、自分で考え、行動する子どもたちが、この国のチカラになっていく。



滋賀県長浜市

認知症を見守り、支え合ひ、日本へ。



認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキャラバン

検索

TEL:03-3266-0551 受付時間 月~金曜 9:00~17:00



ACジャパンは、
この活動を支援しています。

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(電通銀座ビル) TEL.(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円分同封) ◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

全国の小学校でたくさんの 認知症サポーターが育っています。

正しい知識を身につけて、自分で考え、行動する子どもたちが、この国のチカラになっていく。



AACジャパンは、
この活動を支援しています。



滋賀県栗東市

認知症を見守り、支え合え、日本へ。



認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキャラバン

検索

TEL:03-3266-0551 受付時間 月～金曜 9:00～17:00





ACジャパンは、
この活動を支援しています。

全国の小学校で たくさんの認知症サポーターが 育っています。

正しい知識を身につけて、自分で考え、
行動する子どもたちが、この国のチカラになっていく。



滋賀県長浜市

認知症を見守り、支え合ひ、日本へ。



認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

認知症サポーターキャラバン

検索

TEL: 03-3266-0551 受付時間 月～金曜 9:00～17:00



JR 新橋駅構内広告



東京メトロ内吊り広告



認知症の人の視点に立って、認知症への社会の
理解を深めるための情報発信に関する調査研究事業
報告書

平成 28 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

平成 29 年 3 月

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町 2-7-15 近代科学社ビル 4 階

TEL 03-3266-1651 FAX 03-3266-1670

